

令和5年度 学校経営方針

船橋市立若松中学校

1 経営方針

- 子供への愛情にあふれ、教師としての情熱と信念をもち生徒の支援にあたる
- 生徒の気持ちに寄り添い、生徒の良さや可能性を見いだす
- 毎時間の授業を大切にし、わかる授業の実践に努める
- いじめのない、安心・安全で生徒が心穏やかに過ごせる学校作りに努める

2 教育目標

時代に対応し、健康・知性・徳性・感性を備え持つ、調和のとれた心豊かな生徒の育成。

3 目指す生徒像

- (1) 他者の立場になって考え、行動できる「思いやりのある生徒」 絆
- (2) 自己実現に向かって挑戦できる「自ら学ぶ生徒」 自立
- (3) 困難に負けず、目標に向かって最後までやり抜く「強い心をもった生徒」 克己

4 目指す学校像

- (1) 一人一人が活躍でき、自己存在感を感じることができる学校
- (2) 安全で清潔感があり、安心して生活できる学校
- (3) 生徒・保護者・地域から信頼される開かれた学校

5 経営の重点

(1) 学習指導の改善と充実

- ①授業規律の確立と、基礎的・基本的な内容の着実な定着を図る。
- ②生徒指導の機能を生かしたわかる授業づくりを推進する。
- ③ICT 機器の積極的な利活用と、ICT 機器を使った効果的な指導法の工夫・改善を行う。
- ④朝読書の充実と学校図書館の積極的な活用を図る。

(2) 生徒指導の充実

- ①基本的な生活習慣の確立と個性の伸長を支援する。
- ②生徒や保護者が相談しやすい環境を整え、生徒理解に努める。
- ③生徒のサインを見逃さず、生徒に寄り添った支援に努める。
- ④家庭との連携を密にし、相互信頼関係を基盤とした生徒指導の充実を図る。
- ⑤いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努める。
- ⑥情報モラル教育の充実を図り、問題行動の未然防止に努める。

(3) 特別支援教育の充実

- ①生徒の困り感に気づき、一人一人のニーズに対応した支援の充実を図る。
- ②関係機関との連携を密にし、きめ細かな支援を図る。
- ③個別の支援について、職員間で共通理解を図り、学校体制での支援に努める。

特別支援学級

- ① 指導内容の精選を図り、より効果的な指導方法を工夫する。
 - ② 交流等を通して全校生徒の障がいを持つ生徒への理解を深める。
- (4) 道徳教育の充実
- ① 教育活動全体を通して、道徳教育を実践し、心豊かな生徒を育成する。
 - ② 心の教育の中心に道徳教育を位置づけ、道徳の授業を充実させるとともに、ボランティア活動や様々な体験活動等を通して、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てる。
- (5) 特別活動の充実
- ① 豊かな体験活動を味わえる体験活動を推進する。
 - ② 地域ボランティア活動に積極的な参加を促し、自発的活動を推進する。
- (6) 健康・安全教育の充実
- ① 自己肯定感を高め、心の健康の充実を図る。
 - ② 全職員が危機管理意識を共有し、学校の安全管理において組織的に対応し、生徒の安全確保に努める。
 - ③ 自己の健康に関心を持ち、望ましい生活習慣を送るための実践力を育成する。
 - ④ 有効な避難訓練を計画的に実施し、防災教育の充実を図る。
- (7) 信頼される開かれた学校づくりの推進
- ① 学校だより、HP及びメール配信による情報発信と保護者、地域との連携を強化する。
 - ② 授業参観・保護者会・面談・PTA活動への参加等で保護者との理解・連携を図る。
 - ③ 学校運営協議会・学校評価を生かした学校経営(学校評価を精査、分析し改善に努める)。
 - ④ 小・中の相互授業参観等を実施し、小中連携教育を推進する。
- (8) 教職員の育成及び指導力の向上
- ① 校内・校外の研修に積極的に参加するとともに、研修内容の充実を図る。
 - ② 相互授業参観を積極的に行い、指導力の向上を図る。
 - ③ ボトムアップの取り組みを積極的に行い、活力ある職場を目指す。
 - ④ 風通しの良い職場風土をめざし、不祥事根絶に努める。

「凡事徹底」	当たり前のことを当たり前に行動
「率先垂範」	時を守り、場を浄め、礼を正す
「伝統と創造」	時代の変化に対応する